



2024年8月14日

各位

会社名 株式会社ブロードバンドセキュリティ
代表者名 代表取締役社長 滝澤 貴志
(コード番号：4398 東証スタンダード)
問合せ先 管理本部 経営企画部長 高田 宜史
(TEL 03-5338-7430)

2025年6月期の業績予想について

2025年6月期(2024年7月1日から2025年6月30日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2025年6月期 (予想)		2024年6月期 (実績)		
		対売上 高比率	対前期 増減率		対売上 高比率	
売上高		7,180	100.0	11.2	6,457	100.0
営業利益		770	10.7	11.7	689	10.7
経常利益		760	10.6	9.5	694	10.8
当期純利益		500	7.0	9.8	455	7.1
1株当たり当期 純利益		113円46銭		103円37銭		
1株当たり配当金		10円00銭		10円00銭		

【2025年6月期業績予想の前提条件】

(1) 情報セキュリティ市場の拡大

デジタル化やクラウド基盤の活用、生成AIの登場などに伴い、DX（デジタルトランスフォーメーション）が拡大する中、サイバー犯罪が多様化・高度化しており、情報セキュリティ市場は引き続き拡大傾向を示しております。

特に、従来からセキュリティ投資に積極的であった大手企業だけでなく、準大手企業や中堅企業においてもセキュリティ投資が活発になってきております。これは、攻撃者がセキュリティ対策の行き届いた大手企業のみならず、サプライチェーンで繋がる、セキュリティ対策が比較的脆弱な準大手企業や中堅企業を狙うようになり、セキュリティ事故が多発していることによるものです。このような流れは今後も加速されるものと思われま。この市場は、当社のメインターゲットである大手・準大手の顧客層とも重なっており、当期においてもこの市場の拡大を見込んでおります。

(2) フルラインアップのセキュリティサービス拡充

当社においては、上流のセキュリティ・コンサルティングから、脆弱性診断やセキュリティの監視・運用までフルラインアップのセキュリティサービスを提供できる体制を確立しております。顧客のニーズにあわせて、必要なサービスを組み合わせる提案できることが当社の強みであり、その顧客数は1600社超となり、前期から継続して取引をいただいた顧客は76%に上ります。

また、セキュリティの運用監視を行うSOC（セキュリティ・オペレーション・センター）の利用に代表される定常収益型サービスは、顧客との継続的な関係性を維持する基盤となっており、当社の全売上高の40%を占めております。さらにクロスセルを推進することで、顧客単価も2020年6月期の334万円から2024年6月期は400万円へと19%以上増加しています。

加えて、当社はクレジットカード情報の漏えい事故調査を取り扱うことができる機関として認定されており、被害者となってしまった企業・団体の緊急対応のニーズに応えることができます。セキュリティ事故に対する緊急対応実施後の支援も併せて、顧客を支援する体制を拡充することで新規の顧客との関係構築も行ってまいります。

(3) コンサルタント・エンジニアの育成

前々期より新卒定期採用を開始し、期末従業員数は236名となりました。一方、これらコンサルタントやエンジニアに対する教育や資格取得を積極的に推進することにより、1人あたりの売上高も2020年6月期の2,040万円から2024年6月期には2,740万円へと34.3%増加しております。当期も引き続き人的資本への投資を継続し、企業価値を向上させることで、さらなる生産性の向上を目指します。

(4) 新経営体制

「Action 2024」で掲げている3つの成長戦略である「1. 新規事業への参入と収益化」、「2. 成長のための人的資本への積極投資」、「3. 既存事業の継続的拡大と利益率向上」それぞれに管掌取締役をあてることで、その実現を図ってまいります。

以上のことから、当社の2025年6月期の業績は、売上高7,180百万円（前期比11.2%増）、営業利益770百万円（前期比11.7%増）、経常利益760百万円（前期比9.5%増）、当期純利益500百万円（前期比9.8%増）を見込んでおります。

【業績予想に関するご留意事項】

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以上